

平成26年土佐清水市議会定例会3月会議審議期間日程表

◇ 審議期間 3月4日～3月20日 (17日間)

日次	月日	曜	会 議 別	開会時刻	議 事 内 容	備 考
第1日	3月4日	火	本 会 議	午前10時	1. 再 開 2. 審議期間の決定 3. 会議録署名議員の指名 4. 諸般の報告 議会事務局長 5. 議案の上程 提案理由の説明…市長 予算・条例等内容説明 …企画財政課長等 6. 散 会	予 算 決 算 常 任 委 員 会
第2日	3月5日	水	休 会			
第3日	3月6日	木	休 会		質疑・一般質問通告書の提出期限午前11時まで	
第4日	3月7日	金	休 会			
第5日	3月8日	土	休 会			
第6日	3月9日	日	休 会			
第7日	3月10日	月	本 会 議	午前10時	質疑・一般質問	
第8日	3月11日	火	本 会 議	午前10時	一般質問	
第9日	3月12日	水	本 会 議	午前10時	一般質問・議案の委員会付託	
第10日	3月13日	木	休 会	午前9時		予 算 決 算 常 任 委 員 会
第11日	3月14日	金	休 会	午前9時		予 算 決 算 常 任 委 員 会
第12日	3月15日	土	休 会			
第13日	3月16日	日	休 会			
第14日	3月17日	月	休 会	午前9時 午後1時		総 務 文 教 常 任 委 員 会 産 業 厚 生 常 任 委 員 会
第15日	3月18日	火	休 会			
第16日	3月19日	水	休 会			
第17日	3月20日	木	本 会 議	午前10時	1. 委員長報告 2. 質疑・討論 3. 採 決 4. 議員派遣 5. 散 会	予 算 決 算 常 任 委 員 会

平成26年土佐清水市議会定例会3月会議委員会付託議案一覧表

◇ 予算決算常任委員会（26.3.12、26.3.20付託）

番 号	件 名
議案第1号	平成25年度土佐清水市一般会計補正予算（第6号）について
第2号	平成25年度土佐清水市水道事業会計補正予算（第2号）について
第3号	平成25年度土佐清水市国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）について
第4号	平成25年度土佐清水市介護保険特別会計補正予算（第3号）について
第5号	平成25年度土佐清水市指定介護老人福祉施設事業特別会計補正予算（第2号）について
第6号	平成25年度土佐清水市再生可能エネルギー事業特別会計補正予算（第2号）について
第7号	平成26年度土佐清水市一般会計予算について
第8号	平成26年度土佐清水市水道事業会計予算について
第9号	平成26年度土佐清水市国民健康保険事業特別会計予算について
第10号	平成26年度土佐清水市後期高齢者医療特別会計予算について
第11号	平成26年度土佐清水市介護保険特別会計予算について
第12号	平成26年度土佐清水市指定介護老人福祉施設事業特別会計予算について
第13号	平成26年度土佐清水市介護サービス事業特別会計予算について
第14号	平成26年度土佐清水市再生可能エネルギー事業特別会計予算について
第30号	平成25年度土佐清水市一般会計補正予算（第7号）について

◇ 総務文教常任委員会（26.3.12付託）

番 号	件 名
議 案 第 1 5 号	土佐清水市再生可能エネルギー事業基金条例の制定について
議 案 第 1 6 号	土佐清水市消防手数料条例の一部を改正する条例の制定について
第 1 7 号	土佐清水市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について
第 2 3 号	土佐清水市立中学校設置条例の一部を改正する条例の制定について
第 2 4 号	土佐清水市特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償支給条例の一部を改正する条例の制定について
第 2 8 号	土佐清水市立小・中学校統合実施プランの見直しについて

◇ 産業厚生常任委員会（26.3.12付託）

番 号	件 名
議 案 第 1 8 号	土佐清水市課設置条例の一部を改正する条例の制定について
第 1 9 号	土佐清水市指定地域密着型サービス及び指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営等に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について
第 2 0 号	土佐清水市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について
第 2 1 号	土佐清水市農産物等処理加工施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
第 2 2 号	宿泊温泉施設足摺テルメの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
第 2 5 号	土佐清水市福祉医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について
第 2 6 号	土佐清水市中心身障害児福祉年金条例を廃止する条例の制定について
第 2 7 号	土佐清水市知的障害者福祉年金条例を廃止する条例の制定について
第 2 9 号	宿泊温泉施設足摺テルメの指定管理者の指定について

平成26年土佐清水市議会定例会3月会議議案等件名及び議決結果一覧表

◇ 今会議提出分（市長提出）

議案番号	件名	提出月日	議決月日	議決結果
議案第1号	平成25年度土佐清水市一般会計補正予算（第6号）について	3. 4	3. 20	原案可決
第2号	平成25年度土佐清水市水道事業会計補正予算（第2号）について	〃	〃	〃
第3号	平成25年度土佐清水市国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）について	〃	〃	〃
第4号	平成25年度土佐清水市介護保険特別会計補正予算（第3号）について	〃	〃	〃
第5号	平成25年度土佐清水市指定介護老人福祉施設事業特別会計補正予算（第2号）について	〃	〃	〃
第6号	平成25年度土佐清水市再生可能エネルギー事業特別会計補正予算（第2号）について	〃	〃	〃
第7号	平成26年度土佐清水市一般会計予算について	〃	〃	〃
第8号	平成26年度土佐清水市水道事業会計予算について	〃	〃	〃
第9号	平成26年度土佐清水市国民健康保険事業特別会計予算について	〃	〃	〃
第10号	平成26年度土佐清水市後期高齢者医療特別会計予算について	〃	〃	〃
第11号	平成26年度土佐清水市介護保険特別会計予算について	〃	〃	〃

第12号	平成26年度土佐清水市指定介護老人福祉施設事業特別会計予算について	3. 4	3. 20	原案可決
第13号	平成26年度土佐清水市介護サービス事業特別会計予算について	〃	〃	〃
第14号	平成26年度土佐清水市再生可能エネルギー事業特別会計予算について	〃	〃	〃
第15号	土佐清水市再生可能エネルギー事業基金条例の制定について	〃	〃	〃
第16号	土佐清水市消防手数料条例の一部を改正する条例の制定について	〃	〃	〃
第17号	土佐清水市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	〃	〃	〃
第18号	土佐清水市課設置条例の一部を改正する条例の制定について	〃	〃	〃
第19号	土佐清水市指定地域密着型サービス及び指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	〃	〃	〃
第20号	土佐清水市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	〃	〃	〃
第21号	土佐清水市農産物等処理加工施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	〃	〃	〃
第22号	宿泊温泉施設足摺テルメの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	〃	〃	〃
第23号	土佐清水市立中学校設置条例の一部を改正する条例の制定について	〃	〃	〃

第24号	土佐清水市特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償支給条例の一部を改正する条例の制定について	3. 4	3. 20	原案可決
第25号	土佐清水市福祉医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について	〃	〃	〃
第26号	土佐清水市心身障害児福祉年金条例を廃止する条例の制定について	〃	〃	〃
第27号	土佐清水市知的障害者福祉年金条例を廃止する条例の制定について	〃	〃	〃
第28号	土佐清水市立小・中学校統合実施プランの見直しについて	〃	〃	〃
第29号	宿泊温泉施設足摺テルメの指定管理者の指定について	〃	〃	〃
第30号	平成25年度土佐清水市一般会計補正予算（第7号）について	3. 20	〃	〃
同意案第2号	監査委員の選任について	〃	〃	同意
同意案第3号	土佐清水市教育委員会委員の任命について	〃	〃	〃

◇ 今会議提出分（議員提出）

議案番号	件名	提出月日	議決月日	議決結果
市議会案第1号	「最新の知見」で伊方原発の徹底検証を求める意見書の提出について	3. 20	3. 20	原案可決
第2号	伊方原発で過酷事故が起きた場合の避難計画を国の責任において策定することを求める意見書の提出について	〃	〃	〃

平成26年土佐清水市議会定例会3月会議意見書議決結果一覧表

議案番号	件名	提出月日	議決月日	議決結果
市議会案第1号	「最新の知見」で伊方原発の徹底検証を求める意見書の提出について	3. 20	3. 20	原案可決
市議会案第2号	伊方原発で過酷事故が起きた場合の避難計画を国の責任において策定することを求める意見書の提出について	〃	〃	〃

平成26年土佐清水市議会定例会3月会議選任事項表

事 項	選任月日	方 法	人員	氏 名	
常任委員会の委員長	3. 4	委員会互選	1	委員会	委員長
				予算決算	岡崎宣男
監査委員	3. 20	同意	1	脇谷浩正 (土佐清水市以布利26番地) 昭和27年2月7日生	
教育委員会委員	3. 20	同意	1	浅井久也 (土佐清水市下ノ加江2804番地21) 昭和43年2月24日生	

平成26年土佐清水市議会定例会3月会議質疑・一般質問通告一覧表

◇質疑

順位	質 疑 者	質 疑 内 容
1	13番 橋本敏男君	<p>○議案第20号 土佐清水市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資産割の課税率が低いのは ・国保運営協議会での具体的な意見 ・十分なコンセンサスは得られているのか ・低所得者への配慮 ・資格証明書・短期被保険者証の取り扱い ・25%の国保税アップと収納率 ・国保基盤強化協議会での協議事項「国民健康保険の運営に関する業務に係る都道府県と市町村の役割分担のあり方」の内容 ・国民健康保険制度については、平成29年度までをめぐり順次講ずるとしているが、本市を含め市町村の意見は反映されるのか

◇一般質問

順位	質問者	質問内容
1	1 2 番 井村敏雄君 (一括質問)	1 市長の政治姿勢について ○平成25年12月10日のブログについて
		2 清水中学校の現状について ○12月議会以降の状況は ○その後の取り組みは
		3 漁業振興について ○現在の年齢別の就業人口は ○漁獲高(数量・金額)の推移は ○今までに取り組んできた対策は ○今後の見通しは ○今後の対応と対策は
		4 高齢者福祉について ○国民年金受給者の人口は ○そのうち生活保護基準額以下で生活している方々の人口は ○国保税との関連は ○高齢化率41.5%に対する対策は ○国民年金の低額受給者に対する対応は
2	2 番 森 一美君 (一問一答)	1 災害時における避難対策等について ○非常食の備蓄状況について ○飲料水等の確保について ○避難訓練時の炊き出しについて ○実践訓練を企画してはどうか
		2 特産品の保護政策について ○市内の特産品目は ○その出荷状況と販売高は ○低迷の原因は何か ○打開策
		3 国民健康保険事業の現況について ○現在の国保財政の過不足状況は ○不足分はどのようになるか ○国保税率改正案が否決されたらどのようになるか ○今後の見通し
		4 高齢者とのふれあい ○いきいきサロンの感触は ○生の声を聞いてどのように感じたか ○今後の活動は
3	3 番 小川豊治君 (一問一答)	1 職員の分限・懲戒処分と研修の実績と計画について ○分限処分について ○懲戒処分について ○職員研修の実績 ○今後の研修計画

3	3 番 小川豊治君 (一問一答)	2 市勢の現状と今後、活性化に向けた行政施策について ○人口減少について現状認識 ○現在までの取り組みと効果 ○雇用の創出について ○水産業の現状と課題について ○今後の重点的な行政施策について
4	8 番 岡崎宣男君 (一問一答)	1 道の駅の発展策について ○道の駅についての執行部の現状認識はどのように思っているのか。次期指定管理者は決定したか ○過去5年間の売り上げの推移と問題点について実情を聞かせていただきたい ○現在の出店者の声（苦情・要望）について把握していると思うが、どのようなことを把握しているのか。出店者の声を生かしてほしい ○売り場面積等店舗の構造上の問題点は如何考えるか、他の道の駅は参考にすべきと思うが如何 ○集荷体制など人的問題について、行政も地域おこし協力隊等を投入すべきではないのか ○品数は少ない地域農家等に積極的に協力を求め出店者の掘り起こしをすべきと思うが如何 ○道の駅の発展は、出店者をはじめ地域経済に多大な効果が期待できると思うが如何 ○本市の道の駅のランクは低い、無限に発展の可能性はある。「寂しい道の駅」の脱却を行政・市民が協力して行っているが如何
5	11 番 仲田 強君 (一問一答)	1 期日前投票の改善を ○有権者に郵送する投票所入場券（ハガキ）の裏に「請求書兼宣誓書」の掲載を 2 観光振興について ○「楽しまん！はた博」の総括と本市への効果は ○ポスト「楽しまん！はた博」についての考えを問う ○観光キャンペーン「リョーマの休日～」・「高知家の食卓～」を中心とした県の観光振興策と本市の観光振興策との連携は 3 新年度予算案について ○平成25年度と比べ減額予算となった理由を市民に分かりやすく説明すべき ○新年度予算案に市長公約がどう反映されたか

6	<p style="text-align: center;">4 番</p> <p style="text-align: center;">西原強志君</p> <p style="text-align: center;">(一問一答)</p>	<p>1 新清水保育所の運営及び管理について</p> <p>○新清水保育所の運営等について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員数の実態と今後の推移状況について ・園児数の推移について ・新清水保育所の運営について ・3保育所統合による財政負担軽減について ・他の4保育所の現状と今後の運営について ・3保育所統合後の旧園舎(清水、旭、浦尻)の管理及び有効活用について <p>2 水産振興について</p> <p>○水産振興等について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁獲量及び漁獲高の推移について ・漁業従事者の現状と後継者対策について ・さんご漁従事者の推移等について ・メジカ漁従事者の推移と対応策について ・冷凍施設について
7	<p style="text-align: center;">6 番</p> <p style="text-align: center;">岡林喜男君</p> <p style="text-align: center;">(一問一答)</p>	<p>1 国民健康保険税の引き上げについて</p> <p>○国保税の滞納状況等を問う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・滞納世帯数 ・短期被保険者証交付世帯数 ・被保険者資格証明書交付世帯数 <p>○国民健康保険税について問う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・所得200万円の4人家族の税額 <p>○国民健康保険制度の目的等を問う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「社会保険制度に関する勧告」50年勧告と95年勧告の違いについての認識 ・滞納世帯数・短期証・資格証明書交付の現状認識 ・国保危機、保険税高騰の要因 ・国保税引き上げで制度の目的が果たせるのか <p>○地方自治の本旨について問う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国民健康保険制度の正常な運営は市民の命と健康を守ることにある ・財源不足についての措置は憲法に基づいて地方自治の本旨に沿って行うべき ・年金の財源や消費税の引き上げが実施される中、国保税を上げるべきでない

8	<p>13番 橋本敏男君 (一問一答)</p>	<p>1 本市産業の実態と展望</p> <ul style="list-style-type: none"> ○漁業振興 <ul style="list-style-type: none"> ・清水サバ・メジカ漁の現状と将来展望 ○観光振興 <ul style="list-style-type: none"> ・土佐清水市観光ビジョン（未来図） ・インバウンド観光 ・足摺岬灯台点灯100年のアニバーサリー企画 ○商工振興 <ul style="list-style-type: none"> ・地域振興券の活用 ・伝統産業宗田節加工 ○農業振興 <ul style="list-style-type: none"> ・集落営農 ・半農半電（ソーラーシェアリング） ○林業振興 <ul style="list-style-type: none"> ・（株）グリーン・エネルギー研究所（宿毛市）との連携 ・本市ペレットボイラーの普及と契約内容 ・CLT生産量四国最大「高知おおとよ製材（株）」は林業振興の切り札となるのか <p>2 再生可能エネルギー活用の意義</p> <ul style="list-style-type: none"> ○再生可能エネルギー事業の現状 ○エネルギー自給による経済効果 ○災害時の電源確保 ○再生可能エネルギー事業展開による行政メリット ○FITプレミアム期間（平成26年度）における戦略
---	---------------------------------	---

平成26年土佐清水市議会定例会3月会議意見書（全文）

市議会議案第1号

「最新の知見」で伊方原発の徹底検証を求める意見書の提出について

土佐清水市議会会議規則第14条の規定により、首題の件に関し次のとおり意見書を提出する。

平成26年3月20日

議長 岡 林 守 正 様

提出者 武藤 清

賛成者 矢野川周平

永野 裕夫

岡林 喜男

瀧澤 満

井村 敏雄

橋本 敏男

「最新の知見」で伊方原発の徹底検証を求める意見書

原子力規制委員会の組織理念における活動原則の中で、常に「最新の知見」に学び職務遂行するとしているが、このことは規制委員会発足以前から原子力行政の根本に捉えられていたものであり、東京電力福島第一原発事故の深刻な事態が今も続く中、「最新の知見」を基に厳格に規制することが一層強く求められている。

新たな知見として、まず注目するのは、東日本大震災の1カ月以上前から震源地のすぐそばで、スロークエイクと呼ばれる地下深くのプレート境界の振動が起きていたことを東北大学が記録していたことである。これと同様の現象が伊方原発のある佐田岬半島直下においても起きていることについて、NHKが報じるなど、巨大地震との関連性の研究が求められている。

次に、愛媛新聞2012年12月31日付で伊方原発の真下に断層等があることについて、報じている。原子力規制委員会においては、各原発の活断層調査を行っているところであるが、伊方原発においても同様の現地調査を行うよう強く要請するところである。

このほか、東京電力が分析可能な形で公開していなかった「過渡現象記録装置」（飛行機のフライトレコーダーに相当するもの）のデータが、昨年夏にようやく全面公開された。データ公開を求めてきた元東京電力福島第一原発炉心設計技術者で本市在住の木村俊雄氏が解析した結果、地震発生から約1分半で原子炉冷却水の重要な流れが止まったと指摘したことについて、岩波書店の「科学」2013年11月号の中で掲載されている。このこともまさに「最新の知見」であり、徹底検証を求めるものである。

また、東日本大震災では、短周期地震動の影響を受け、電力会社の変電設備などが破損した事例があると総務省消防庁の「東日本大震災記録集」第2章2—3に記載されている。

伊方原発は、中央構造線活断層帯が直前にあり、震源地に極めて近くなる可能性が指摘されているだけに、このことは深刻で重大な情報である。

連動等による地震動が重なり、長い時間の揺れとなることの徹底検証も行うよう要請するところである。

2014年3月7日付高知新聞では、伊方原発「検討不十分」との見出しで、3月6日開催の原子力規制委員会審査会合での議論が報じられている。その中で、四国電力は自然現象などで原子炉施設の大規模な損壊が発生した場合の対処手順について資料提出したが、地震と竜巻の場合に限って説明したため、「大規模な自然災害や航空機テロを想定した対策の検討が不十分」との見解を規制委員会は示した。さらに規制委員会事務局の幹部の声として、「質問しても四国電力から十分な回答がなく、消化不良だった」と述べた。と審査結果等が明らかにされている。

以上のように、伊方原発は、何よりも住民が安全で安心できる生活をおくるには、あまりにも問題が多すぎるといえる。

よって、原子力規制委員会におかれては、「最新の知見」で伊方原発の徹底検証を行い、再び「福島」を繰り返さないために万全の施策を講じるよう、強く要請するものである。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成26年3月20日

土佐清水市議会議長 岡林 守正

原子力規制委員会

委	員	長	田	中	俊	一	殿	
委		員	島	崎	邦	彦	殿	
委		員	更	田	豊	志	殿	
委		員	中	村	佳	代	子	殿
委		員	大	島	賢	三	殿	

市議会議案第2号

伊方原発で過酷事故が起きた場合の避難計画を国の責任において策定することを求める

意見書の提出について

土佐清水市議会会議規則第14条の規定により、首題の件に関し次のとおり意見書を提出する。

平成26年3月20日

議長 岡 林 守 正 様

提出者 武藤 清

賛成者 矢野川周平

永野 裕夫

岡林 喜男

瀧澤 満

井村 敏雄

橋本 敏男

伊方原発で過酷事故が起きた場合の避難計画を国の責任において策定することを求める
意見書

東京電力福島第一原発事故で汚染された地域は半径30km圏内にとどまらず、深刻な放射能汚染で知られる飯館村は原発から約40km、国や県からの指示を待たずに住民への安定ヨウ素剤の配布に踏み切った三春町は、約50km離れたところに位置している。三春町の対処については、NHKが克明に放送したとおり、大量の放射性物質が通過した記録が明らかになっている。さらに距離の離れた首都圏での放射能汚染やホットスポットについても報道があったところである。

こうした広域の対応については、1つの都府県で済む問題ではなく、国において避難計画を立てるべき範囲を抜本的に拡大する必要がある。

また、こうした避難計画策定もなしに原発再稼働の適否判断を行うべきではないことは申すまでもないことである。

さらに、原発事故における避難の問題は、一時的な避難だけで済まされるものではなく、東京電力福島第一原発事故で発生しているように極めて多くの被災世帯が数年間にわたって居住移転せざるを得ない現実がある。

この対策についても、地方自治体レベルで解決できる問題ではない。

よって、国におかれては、伊方原発で過酷事故が起きた場合の周辺住民の居住移転を含む「避難計画」について、地方自治体任せにせず、国の責任において策定するよう強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成26年3月20日

土佐清水市議会議長 岡林 守正

内閣総理大臣 安倍 晋三 殿
総務大臣 新藤 義孝 殿